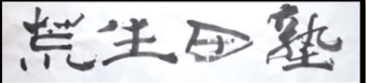




第七回 荒生田塾講演会



「ボクの幸せになるための法則」

7月30日(土) 14時半～

「バリバラ」の **入場無料 (カンパ制) (14時開場)**

玉木幸則さん 講演会

コロナ禍のため、2年続けて延期になったバリバラ玉木さんをお迎えしての荒生田塾講演会、ついにやります！ 申込不要です。どなたでもお越しください。YouTubeでのライブ配信も行います。

講演後、**玉木幸則 × 奥田知志 対談** も。



兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳そこそこで肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。日本福祉大学社会福祉学部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務するが1年で退職。その後、自立生活センター・メインストリーム協会で働き始めて以降、障害者の自立生活運動にのめりこむ。2001年より、西宮市障害者生活支援事業を受託して以降、障害者総合相談支援センターにのみやセンター長などを歴任し、本人中心の相談支援の仕組み作りに大きく関わってきた。現在、NPO法人日本相談支援専門員協会顧問等、NHK Eテレ「バリバラ」にレギュラー出演中



7月31日(日) 11時～ 特別礼拝

メッセージ：奥田 知志 牧師 **入場無料！ (献金あり)**

絵本『すべては神様が創られた』文：奥田知志 絵：黒田征太郎
好評発売中！ 収益は 戦争被害者の支援のために ささげられます。



「お前たちは、ケダモノになるなー沖縄復帰五〇年」

牧師 奥田知志

二月二四日。戦争が始まった時、私の中に響いていたのは「オバアたちのことば」だった。オバアのことばに押し出され「すべては神様が創られた」は生まれた。
一九九五年九月四日、沖縄県に駐留するアメリカ兵三名が一二歳の小学生女児を拉致し集団で暴行した。沖縄は大きな怒りと悲しみに包まれた。一〇月二一日の県民総決起大会には八万五千人が結集した。この怒りが日本全体のものとなっていったかは今も問われている。パプテスト連盟では米軍基地撤去や地位協定廃止などを日本政府に申し入れた。その時、官房長官に会見したのが森松協働牧師である。
当時の日米地位協定では「起訴に至らなければ、関与が明らかでもアメリカ兵の身柄を日本側に引き渡すことができない」となっており、実行犯の引き渡しはなされなかった。それも一瞬に反米感情が高まったのだ。総決起集会の同月、日本政府は地位協定の「運用の改善」がなされた。合意は以下の通りである。「合衆国は、殺人又は強姦という凶悪な犯罪の特定の場合に日本国が行うことがある被疑者の起訴前の拘禁の移転についていかなる要請に対しても好意的な考慮を払う」。ふざけるにもいい加減にしてもらいたい。犯罪捜査が「好意的な考慮」をしてもらわないと出来ないとはどういうことか。それが日米関係である。当然これは沖縄の問題ではない。主権国家の問題である。
事件後、女性たちの抗議集会の様子が報道された。集会所に集まった女性たちは怒りの声を上げていた。少女が受けた傷。沖縄が背負わされてきた不条理。テレビの画面からも怒りが伝わってきた。二七年前のことなので記憶は曖昧だが明確に覚えていることがある。集まったオバアたちが掲げた横断幕に「米兵よ、お前たちはケダモノになるな」と書かれていたことだ。私は、この言葉に「怒り」と共に、もう一つの叫び、いや「呼びかけ」があるように思えた。米兵がやったことは「ケダモノ」の仕業に他ならない。いや、それ以下だ。オバアたちは「お前たちはケダモノだ」と怒りの声を上げつつも、同時に「お前たちはケダモノになるな」と呼びかけていたと思う。オバアたちは言う。「お前たちは、ケダモノではない。人として生まれたのだ。母たちは、お前たちをそんなことをするために生んだのではない。ケダモノになるな。人として生きなさい。人の尊厳と誇りを捨ててはいけない」。あの日、震えるような怒りの奥に、そんな「呼びかけ」、あるいは「さとし」を聞いた気がした。オバアたちは「戻っておいで。そっちに行つてはいけません。それはケダモノの道だ」と言いたかったのだ。当然、赦せるはずはない。しかし、あのことばにはある意味「出口」というか「希望」が示唆されていた。
絵本「すべては神様が創られた」では、本来「人とは何か」について書いた。神様は世界を、自然を、そして人をなんのために創られたのか。ここにおける神様は、キリストさまでも、お釈迦様でも、アッラーさまでもなんでも良い。黒田さんは「僕は自然が神様です」と言う。それで良い。問題は、今の世界が「本来の世界」からずいぶん「ズレ」てしまっていることだ。ロシア兵も、ウクライナ兵も、一旦立ち止まって考えてもらいたい。「人とは何か」を。いや、世界中が考えるべきなのだ。私たちは、ケダモノではないし、そんなことをするために生まれたのではないという創造したのではない。オバアたちの嘆きに重なり、神様の嘆きが聴こえる。それでも世界がその声を聴く日は近いと私は信じている。だから、あの絵本のことばを書いたのだ。

今後のイベント

8月14日(日) 11時 戦争被害者追悼平和祈念礼拝 宣教者：奥田知志 牧師

9月17日(土) 14時半 関田寛雄 先生 講演会

9月18日(日) 11時 平和特別礼拝 メッセージ：関田寛雄 先生

1928年北九州市生まれ御年94歳の、私たちの敬愛する関田寛雄先生をお迎えし、2日間にわたってお話しいただきます。



9月24日(土)、25(日) 中村太地 さん ヴァイオリンコンサート

3月に、東八幡教会も賛同してウクライナ人道支援のチャリティーコンサートを行った北九州市出身のバイオリニスト中村太地さんが、再び東八幡教会でコンサートを開催されます。今回はどんなゲストと共演なさるのか。お楽しみに！



NO WAR 戦争反対

東八幡教会は「戦争反対」を言い続けます。

絵本『すべては神様が創られた』の発刊記念イベントが4月30日に行われました。

絵本は抱樸のオンラインストアなどでご購入いただけます。 <https://npovol.stores.jp/>

この間の礼拝では、二人の牧師が戦争と平和をテーマに宣教を語っています。YouTubeの再生リスト→

<https://youtube.com/playlist?list=PLLqu8r2PNJ-iF7umNlwnJd0fxDF7DiX-I>



撮影：猪股由佳



撮影：猪股由佳

遠方などの理由で直接東八幡教会に来ることのできない方とつながるネット会員制度「星の下」。会員登録すると、ホームページの会員専用メニューが使えるたり、オンライン交流会、出張交流会などの会員限定イベントにも参加できるようになります。

7月23日(土)には大阪で交流会を行います！！

牧師はじめ教会員数名で大阪に出張いたします。ぜひ会員登録してご参加ください。教会ホームページからお手続きできます。

<https://www.higashiyahata.info/member-concept>



昨年11月に東京で行われた出張交流会の様子



「星の下」でつながろう！



定例集会

- | | | |
|---------------|------|---------|
| ・主日礼拝 | 毎週日曜 | 午前11時 |
| ・子ども礼拝(小学生以下) | 毎週日曜 | 午前10時 |
| ・少年少女会(中高生会) | 毎週日曜 | 礼拝後 |
| ・聖書の学びとお祈りの会 | 毎週水曜 | 午後7時30分 |

どの集会にも
気軽にご参加ください



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40 電話/FAX 093 (651) 6669
Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com ホームページ: 「東八幡キリスト教会」で検索
牧師: 奥田 知志 石橋 誠一 協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生

